

議 長 それでは討論に入ります。

1 1 番 寺 嶋 それでは、議案第13号令和4年度松田町一般会計予算について、反対の立場から討論を行います。

町の一般会計予算は55億1,000万円で、前年度対比10億6,000万円の減となっています。歳入の主な町税は15億2,654万円、地方交付税10億8,500万円、国庫支出金6億9,237万円、町債6億5,480万円となっています。地方債の令和4年度末現在高見込額は60億7,982万円で、前年度対比2億6,383万円の増となっています。令和4年度以降の町税は減収傾向となり、自主財源の確保等に努め、町有地の有効活用、未利用地の住宅地への誘導などに取り組むことです。

課題として、足柄上地区のごみ焼却場建設事業が検討されており、消防松田分署移転用地購入、松田中学校校舎大規模改修など、町財政の負担が大きい事業が見込まれ、さらに新松田駅北口駅前広場整備事業も予定されています。当面、公債費も起債残高も増えることから、厳しい財政運営となり、町民サービスの低下を招かないように、しっかりとした町政を行うことです。

予算に反対する理由を述べます。新型コロナウイルス感染症対策事業では、新型コロナウイルス自主検査費用助成金と給食費保護者負担特別軽減措置補助金が削減されています。一般行政職の正規職員は2名削減、技能労務職員も1名削減されており、定員119人を大幅に下回らないように、正規職員を増やすべきです。親族の世話を担う18歳未満のヤングケアラー支援事業では、コーディネーターの配置や実態調査等を実施し、支援策を考えるべきです。町消防団定員は164人で、充足率は85%となっており、町民の生命と財産を守る立場から、消防団員を増やすことです。

以上で一般会計予算の反対討論とします。よろしく申し上げます。

議 長 ほかにございますか。

4 番 平 野 議案第13号令和4年度一般会計予算案に賛成の立場から討論いたします。

総額55億1,000万、松田小学校建設が一段ついたことで、前年度より10億6,000万の減、持続可能な未来創造、チルドレンファースト推進予算として創意工夫した案が提案されました。この4月から令和元年に策定した第6次総合計画

の前期アクションプログラム4年目を迎えることとなります。目の前の新型コロナウイルス感染症対策を最優先としつつ、忘れてはならない課題として平成25年に指摘されたいわゆる消滅可能都市と名指しされたこと。そうならないために継続的に施策を行ってきて、最新の調査では回復基調となっておりますが、気を緩めることなく、一層の知恵と工夫を注入することが感じられる予算編成であります。

定住・移住対策は引き続き重点事業となっておりますが、ほかの事業も町の魅力を高め、人を呼び込むことにつながるものが多いのではないかと感じます。新規事業が多く、工夫された予算の中で幾つか挙げますと、チルドレンファースト関連予算はすばらしいと思います。特にまちづくりに子供たちの柔軟な発想を取り入れる仕組みが始まることは、とても楽しみです。SDGs未来都市として再生エネルギー利用促進やごみ減量化の取組も忘れていませんが、新たにSDGsを推進するために、住民と協働する仕組み、いわゆるプラットフォームを構築する事業が始まるとのこと。松田町が全国でも先鞭をつける取組になるのではないかと思います。

スポーツツーリズムを推進するためのスポーツコミッション設立も、県内初と聞いております。地域活性化に向けて期待をします。

地域公共交通対策予算は、既存の交通と新たなデジタル技術を使った交通サービスを総動員して、地域住民の足を確保する計画に着手することのことで、交通の結節点である松田町の利点を大きく生かすことにつながる将来性ある事業と思います。

ほかにも多方面にわたる事業がありますが、全てが有機的に影響し合い、相乗効果を生むことを期待いたしますが、これまでもそうなのですが、松田町は他市町より進んでいる施策が多く、それなのにアピールが足りなくて、よさが気がついてもらえないことがしばしばです。ぜひ町内外にアピールをしていただきたいということは申し添えます。

中長期的な財政推計では、昨年3月に示された中で、実質公債費比率が2034年に13%ピークとのことでしたが、今回示された推計では2040年に9.7%がピ

ークということ、かなり改善した見通しとなっております。また、町の貯金である財政調整基金は、この2月末で11億9,000万円、過去にない大きな残高となっており、令和元年決算時に3億5,000万だったことを思い出すと、町民サービスを落とすことなく、コロナ感染対策もいち早くやりながら、無駄を省きやりくりされてきた職員の努力に敬意を表します。これまでと同様、国・県の情報にアンテナを張り、可能な財源を獲得し、町負担を抑える工夫も行いながら、多方面の事業に取り組んでいただくことを期待して賛成討論を終わります。同僚議員の皆様方には、ぜひ御賛同いただけるようお願い申し上げます。

議 長 ほかにございませんか。1番 唐澤君、反対討論ですか。（「賛成です。」の声あり）6番、反対で。

6 番 井 上 私はですね、先ほど予算特別委員会の委員長報告がございました令和4年度松田町一般会計当初予算に対してですね、反対の立場から討論を行わせていただきます。

内容的にはですね、おおむね前者等も討論された中で、財政の健全性等は確保されているというふうには理解します。しかし、次の1点でですね、私は令和4年度一般会計当初予算に対しては反対をいたします。

その1点とはですね、やはり松田分署の消防用地の予算計上についてです。松田町内に松田分署を更新をしてですね、新しい松田分署ができることは、やはり町民の希望だと思います。町民の安全・安心のための施設をなるべく松田町に、町内に、近い位置に置くということは、私もですね、当然それは必要であるというふうに理解をしております。ただ、2億円というですね、土地の用地購入事業費、特に特定の土地が想定されているわけでもなく、例えばそれが予算の半分で購入できたとするとですね、その半分の予算は町の税金をですね、ある程度無駄遣いといいますか、1億円、2分の1の金額で1億円で購入できたとすると、その1億円というのは、その使途がですね、当初予算の中でほかの施策、事業に対する圧迫をしているということで理解をします。

こういった土地購入は、今まで行政が行ってきた土地は、ある程度土地が固まって、それに関する費用、補償補填、公有財産購入費を予算計上をある程度

確定をしてからですね、予算を計上すべきだというふうに考えております。かなりここで大きい金額の公有財産購入費、消防分署用地を購入をするということを当初予算で計上するということは、本来的ではない町民の税金の使い道、使い方だというふうに考えますので、一般会計当初予算案に対してはですね、反対ということで討論を終わらせます。よろしくお願いいたします。

議 長 賛成討論の方はいますか。

1 番 唐 澤 令和4年度一般会計予算案について、賛成の立場から討論いたします。

日本において新型コロナウイルスの感染者が確認されてから3年目に入りました。苦しい社会情勢が続いてきましたが、町政の財政推計を確認したところ、令和4年度実質公債費比率、過去3か年平均は6.8%、今後20年間を見通しても10%以下に抑え続けていける見込みです。無駄を省き節約できていることが分かりますし、臨時交付金等を上手に活用しながら、適切な予算措置がとられています。

様々な施策がある中で、特に評価できる点を申し上げます。コロナ禍における全国の令和3年出生数は、過去最少を更新しました。消滅可能性都市の一つに上がっている松田町にとっても、かなり危惧するところです。加えて、県立足柄上病院の産科廃止の件もあり、出産環境の課題がますます深刻化しています。子育て支援、少子化対策についても検証を行ったところ、令和4年度予算には拡充事業として第2子保育料無償化や18歳まで拡充する小児医療費助成事業等が、新たな新規事業として出産サポートタクシー助成事業や子育て応援給付金、ヤングケアラー支援などの児童相談事業等が展開され、対策がとられています。

このように地域住民の声を取り入れ、関係機関との連携を怠らず工夫を積み重ね、町全体で新しい命の誕生を歓迎し、応援し、共に育む姿勢は、当初の調査結果7,364人から2040年時点で約7,800人まで人口が回復する見込みにつながっています。今後も事業の内容や周知、実施後の効果も含め、よりよい事業となることを期待いたします。引き続き行政運営に取り組んでいただきますようお願いし、他の議員の皆様方におかれましても賛同いただけますよう、よろし

くお願いいたします。

以上により討論を終わります。

議 長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、討論を打ち切って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を打ち切り、採決を行います。議案第13号令和4年度松田町一般会計予算に対する委員長の報告は可決です。議案第13号令和4年度松田町一般会計予算は委員長の報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。よって、本案は委員会報告のとおり可決されました。